



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 伊藤ハム株式会社

上場取引所 東

コード番号 2284 URL <http://www.itoham.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀尾 守

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 石井 隆

TEL 0798-66-1231

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	359,628	5.0	6,222	△12.2	7,076	△0.1	5,875	14.7
25年3月期第3四半期	342,518	△2.3	7,085	36.1	7,085	11.7	5,124	23.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 9,513百万円 (74.7%) 25年3月期第3四半期 5,445百万円 (29.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	27.26	27.23
25年3月期第3四半期	22.28	22.26

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	218,529	123,045	56.0
25年3月期	205,350	116,841	56.6

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 122,286百万円 25年3月期 116,189百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	459,000	4.6	5,000	△11.7	5,800	3.0	4,200	1.3	19.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	247,482,533 株	25年3月期	247,482,533 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	33,373,493 株	25年3月期	28,390,464 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	215,548,500 株	25年3月期3Q	229,955,954 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、リスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レート、獣疫などの様々な要因により、予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
平成26年3月期第3四半期	359,628	6,222	7,076	5,875	27.26
平成25年3月期第3四半期	342,518	7,085	7,085	5,124	22.28
増減率	5.0%	△12.2%	△0.1%	14.7%	22.4%

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日～12月31日)のわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和政策などによる円安・株高が進行し、企業収益環境の改善や個人消費の持ち直しが徐々に見られるなど、デフレ脱却に向けたムードが高まっておりますが、消費税率引上げに伴う消費マインドの減退等、先行きは依然として不透明な状況となっております。

当業界におきましても、円安等による原材料価格の高騰や電気・ガス等のユーティリティ費用の上昇など、引き続き厳しい事業環境が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、中期経営計画「CNV2015」の3年目を迎え、当年度の基本方針である「成長戦略へ軸足を移す」「業務改革のスピードを上げ現場力を更に強化する」「ワークライフバランスの充実を図り人材力を強化する」「企業ブランドの更なる強化」の4つに対し、全社一丸となって取り組み、厳しい市場環境の中で競争力を改善してまいりました。さらに、メーカーとしてのブランド力を高め、価値ある商品をお客様に提案するとともに、スピードを上げて組織と仕組みを市場の変化に即応させ、組織全体の生産性向上に努めてまいります。

当第3四半期の連結業績につきましては、売上高は、ハム・ソーセージは主力商品やギフトの販売が堅調に推移して前年同期に比べて3.5%増、調理加工食品ほかは、一部の外食産業向けの売上が減少したことにより前年同期に比べて4.3%減、また食肉は国内相場が総じて前年を上回る水準で推移したことや鶏肉の販売量が増加したことにより前年同期に比べて9.7%増となった結果、売上高全体としては前年同期より171億1千万円増加して3,596億2千8百万円(前年同期比5.0%増)となりました。利益面につきましては、売上総利益は、加工用原材料の価格高騰や食肉の調達コストの上昇等による利益率の低下が影響し、前年同期に比べて22億9百万円減少して666億8千8百万円(前年同期比3.2%減)となりました。また営業利益は、販売費及び一般管理費が減少したものの、前年同期に比べて8億6千2百万円減少して62億2千2百万円(前年同期比12.2%減)となりました。経常利益につきましては、持分法による投資損益が大幅に改善した結果、前年同期に比べて微減の70億7千6百万円(前年同期比0.1%減)、四半期純利益は、遊休資産の売却益もあり、前年同期に比べて7億5千1百万円増加して58億7千5百万円(前年同期比14.7%増)となりました。

報告セグメント別の内訳につきましては、加工食品事業本部は、売上高2,023億9千3百万円(前年同期比2.6%増)、営業利益50億4千7百万円(前年同期比20.3%減)、食肉事業本部は、売上高2,017億2千4百万円(前年同期比10.9%増)、営業利益12億2千7百万円(前年同期比58.9%増)となりました。

なお、報告セグメント別の売上高については、従来外部顧客への売上高を記載しておりましたが、組織再編を契機にセグメント間取引について一部管理手法を見直し、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む売上高総額の記載に変更しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## 〔資産、負債及び純資産の状況〕

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて131億7千8百万円増加し、2,185億2千9百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、商品及び製品の増加と有価証券（短期運用預金等）の減少等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて69億7千4百万円増加し、954億8千4百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて62億4百万円増加し、1,230億4千5百万円となりました。これは主に、利益剰余金、その他有価証券評価差額金及び為替換算調整勘定の増加及び自己株式の取得等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月10日に公表しました平成26年3月期の連結業績予想につきまして、下記のように修正いたします。

平成26年3月期連結業績数値予想の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	456,000	7,000	8,000	5,200	24.16
今回発表予想(B)	459,000	5,000	5,800	4,200	19.51
増減額(B-A)	3,000	△2,000	△2,200	△1,000	
増減率	0.7%	△28.6%	△27.5%	△19.2%	
(ご参考) 平成25年3月期連結業績数値	438,827	5,659	5,631	4,145	18.09

## (修正理由)

平成26年3月期通期の業績につきましては、売上高はハム・ソーセージの売上が堅調に推移し、食肉の国内相場が総じて前年を上回る水準で推移していることから当初予想数値を上回る見込みとなりました。営業利益及び経常利益につきましては、原材料価格の高騰や電気・ガス等のユーティリティ費用の上昇により収益環境が非常に厳しいことから当初予想数値を下回る見込みとなりました。また、当期純利益につきましても、経常利益の下振れに伴って当初予想数値を下回る見込みとなりました。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(連結納税制度の適用)

第1四半期連結会計期間より、当社及び一部の連結子会社は、当社を連結納税親会社として、連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,468	7,515
受取手形及び売掛金	48,838	76,568
有価証券	19,000	202
商品及び製品	25,521	30,857
仕掛品	364	241
原材料及び貯蔵品	10,186	11,672
その他	4,789	5,091
貸倒引当金	△64	△91
流動資産合計	120,105	132,057
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,312	16,824
機械装置及び運搬具(純額)	10,781	10,892
工具、器具及び備品(純額)	679	707
土地	16,092	14,509
リース資産(純額)	1,260	1,181
その他(純額)	430	620
有形固定資産合計	45,557	44,734
無形固定資産		
その他	1,563	1,354
無形固定資産合計	1,563	1,354
投資その他の資産		
投資有価証券	25,335	28,014
その他	13,537	12,957
貸倒引当金	△747	△589
投資その他の資産合計	38,125	40,383
固定資産合計	85,245	86,472
資産合計	205,350	218,529

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,328	42,511
短期借入金	340	567
未払法人税等	1,581	1,351
賞与引当金	2,914	1,339
資産除去債務	54	25
その他	14,463	24,260
流動負債合計	57,683	70,056
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	16,569	11,434
退職給付引当金	207	165
債務保証損失引当金	775	497
資産除去債務	865	859
その他	2,408	2,471
固定負債合計	30,826	25,428
負債合計	88,509	95,484
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	28,427	28,427
資本剰余金	30,047	30,047
利益剰余金	64,563	69,329
自己株式	△9,974	△12,181
株主資本合計	113,064	115,623
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,551	4,829
繰延ヘッジ損益	360	395
為替換算調整勘定	△787	1,437
その他の包括利益累計額合計	3,124	6,662
新株予約権	75	91
少数株主持分	576	667
純資産合計	116,841	123,045
負債純資産合計	205,350	218,529

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	342,518	359,628
売上原価	273,620	292,940
売上総利益	68,898	66,688
販売費及び一般管理費	61,812	60,465
営業利益	7,085	6,222
営業外収益		
受取利息	74	82
受取配当金	276	248
受取賃貸料	349	349
持分法による投資利益	—	217
その他	496	317
営業外収益合計	1,197	1,216
営業外費用		
支払利息	202	182
不動産賃貸費用	138	134
持分法による投資損失	740	—
その他	116	45
営業外費用合計	1,197	362
経常利益	7,085	7,076
特別利益		
固定資産売却益	130	801
投資有価証券売却益	486	243
債務保証損失引当金戻入額	92	278
その他	6	—
特別利益合計	716	1,322
特別損失		
固定資産売却損	14	10
固定資産除却損	141	221
投資有価証券売却損	1	112
厚生年金基金脱退拠出金	534	—
事業構造改革費用	166	67
その他	31	23
特別損失合計	890	435
税金等調整前四半期純利益	6,911	7,964
法人税等	1,716	1,994
少数株主損益調整前四半期純利益	5,194	5,969
少数株主利益	70	94
四半期純利益	5,124	5,875

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,194	5,969
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△470	1,284
繰延ヘッジ損益	221	34
為替換算調整勘定	5	520
持分法適用会社に対する持分相当額	495	1,703
その他の包括利益合計	251	3,544
四半期包括利益	5,445	9,513
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,375	9,412
少数株主に係る四半期包括利益	70	101

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合 計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	加工食品 事業本部	食 肉 事業本部	計				
売上高							
外部顧客への売上高	194,572	147,531	342,103	415	342,518	—	342,518
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,606	34,398	37,004	1,130	38,135	△38,135	—
計	197,178	181,929	379,108	1,545	380,653	△38,135	342,518
セグメント利益	6,333	772	7,106	37	7,143	△58	7,085

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣業及び保険代理店業等であります。

2. セグメント利益の調整額は、たな卸資産の調整額等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合 計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	加工食品 事業本部	食 肉 事業本部	計				
売上高							
外部顧客への売上高	199,160	160,379	359,539	89	359,628	—	359,628
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,233	41,345	44,578	237	44,815	△44,815	—
計	202,393	201,724	404,117	326	404,444	△44,815	359,628
セグメント利益	5,047	1,227	6,275	42	6,317	△94	6,222

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業等であります。

2. セグメント利益の調整額は、たな卸資産の調整額等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

- 平成25年4月1日付で、伊藤ハムミート販売東(株)の一部組織を、当社フードサービス営業本部に移管いたしました。この組織再編に伴って、「食肉事業本部」に含めていた当該組織を「加工食品事業本部」に区分変更しております。
- 平成25年10月1日付で、伊藤ハムミート販売西(株)の一部組織を、伊藤ハムウエスト(株)に移管いたしました。この組織再編に伴って、「食肉事業本部」に含めていた当該組織を「加工食品事業本部」に区分変更しております。また、報告セグメントの売上高につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高の取引内容を分類することによる管理手法の見直しを行っております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。

## 【関連情報】

商品分類別の売上高

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増 減	
	自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	自平成25年4月1日 至平成25年12月31日		(%)
ハム・ソーセージ	97,392	100,799	3,407	3.5
食 肉	172,892	189,719	16,827	9.7
調理加工食品ほか	72,233	69,109	△3,124	△4.3
合 計	342,518	359,628	17,110	5.0